

# 平成28年度 調布市障害者地域自立支援協議会

## 第1回全体会報告書

- 1 開催日 平成28年6月6日（金） 午後3時から5時まで
- 2 開催場所 こころの健康支援センター 団体室
- 3 出席者(委員17名 事務局10名)
- 4 議 題
  - (1) 開会の挨拶
  - (2) 委員の自己紹介
  - (3) 会長、副会長の選出
  - (4) 調布市障害者地域自立支援協議会の目的
  - (5) 平成27年度の各ワーキングの報告及び平成28年度のワーキングの展開について
  - (6) 調布市の展望について
  - (7) 今後の自立支援協議会について
  - (8) 質疑応答
  - (9) 閉会の挨拶
- 5 議事録要旨
  - (1) 開会の挨拶（事務局）

これより、平成28年度第1回調布市障害者地域自立支援協議会全体会を始めたいと思います。  
（委嘱状をもって、新委員への委嘱を行いました。）
  - (2) 委員の方々の自己紹介（省略）
  - (3) 会長、副会長の選出
    - 会長

調布市障害者地域自立支援協議会も設立から11年目になりました。調布市に住んでいる方々がより安心して豊かに暮らせるように、さまざまな個人の課題を市全体の課題として皆で考えていこうという協議会です。調布市は事務局・市そして委員の皆さんが熱心に取り組み、ここまで形作ってまいりました。今年度は新たな体制に向けての提案もありますが、より住みやすい町を目指して皆さんと一緒に進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。
    - 副会長

希望ヶ丘ワーキングに参加しています。昨年からは発達障害をテーマに取り上げて協議をしていま

すが、まだ積み残した課題もありますので今年度も引き続き検討していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

○副会長

私はドルチェワーキングに参加しています。障害理解について議論を進めていますが、今年度より障害者差別解消法も施行されました。しかし法律で公的機関や民間企業に対する方針は出されたものの、一般市民向けにはまだ不十分な面があると感じています。そうした一般市民に対しての正しい障害理解を、今年度も引き続き進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

(4) 調布市障害者地域自立支援協議会の目的 (会長)

\*資料参照

(5) 平成27年度調布市自立支援協議会の報告及び平成28年度のワーキングの展開について

- ①ちょうふだぞうワーキングの報告 (会長)
- ②希望ヶ丘ワーキングの報告 (副会長)
- ③ドルチェワーキングの報告 (副会長)

○会長

これまでの報告について質問・ご意見があれば受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

○A委員

希望ヶ丘ワーキングでは、こころの健康支援センターの発達障害者支援事業や主に就労に繋がった方の話題が出ていましたが、こころの健康支援センターの相談者のうち2割が発達障害の方と聞いています。しかし例えば引きこもりやうつの方で、ベースに発達障害があり2次障害としてそういう状態の方もいるのではとも思うのですが、状況としてはどうなのでしょう。

○A委員

こころの健康支援センターでは、平成27年度の年間相談者数は700人を超えています。そのうち約2割は発達障害の方です。昨年のワーキングでは、支援を受けて就労に繋がった方の事例等を通して、どのようなサポートがあるのか、どう繋げていけばよいか等を協議しました。ただ実際に当センターで関わる方は、引きこもりや社会に出る訓練を受けている方等生活支援を受けている方のほうが多くいます。A委員の言われたように、何らかの精神症状がある方の成育歴を聞く中で、幼少期から周囲と馴染めない・生きづらさ等を抱えてきた方もいます。線引きの難しいところで問いに対する回答になるかわかりませんが、2次的にうつや引きこもりになった方もいると思われまふ。

○副会長

要するに、発達障害という診断がついて相談に来た方と、他の精神症状を抱えていたり仕事・生活がしづらく「性格の問題」と言われてきた方の背景に、発達障害が疑われる方がいます。発達障害の問題が明らかになるかならないか難しい、というのも事実です。広汎性発達障害もスペクトラムといって白黒はつきり分けられるものではなく、発達障害の診断がつく場合も、はつきりしないが要素はあるという診断になる場合もあるようです。しかし困っているという状況に変わりはないですから「診断がつくから支援する、つかないから支援しない」というものではない

と思っています。個々の状況を鑑みて必要であれば専門医の診断になるかと思いますが、診断の有無と支援をするかしないかは別の問題であり、こころの健康支援センターでもそのように対応されていると思いました。

○A委員

わかりました。

○B委員

福祉においては乳幼児期から成人期にかけての切れ目のない支援が謳われていますが、発達障害においては大人になって初めて「困った」という方もいます。希望ヶ丘ワーキングでは、成人期に限らずライフステージに応じた内容を協議していくのでしょうか。

○副会長

この自立支援協議会で、発達障害の方全ての課題を取り上げるにはあまりに広範囲ですし、既に医療の立場から取り組まれている事等を改めて協議していく事でもないと考えています。障害福祉計画にどう反映させていくのかという事を念頭に置き、こころの健康支援センターに相談に来ている方の課題を検討するという点から考えると、明確に線引きするものではありませんが現段階では主に成人期の方が対象になっていくと思われれます。発達障害の方について課題の全ては担いきれないという所で、ご了解を得られればと考えております。

○B委員

家族や地域の方からの相談の中で、義務教育期を過ぎると不登校になる方もいて学校や教育相談所にも相談がしづらいたとも聞きます。都立高校での取り組みも一部ありますが、青年期から成人期にかけて困っている方がいる事も知っておいてもらえたらと思います。

○会長

まだ課題が山積している状況ではあると思いますが、今後の各ワーキングでの取り組みをご了承頂けますでしょうか。障害福祉計画作成に向けての準備も始まりますので、引き続き取り組んでまいりたいと思います。

(6) 調布市の展望について（障害福祉課）

今年度もどうぞよろしくお願い致します。調布市障害者地域自立支援協議会では、これまでワーキングを通じてさまざまな事業が実施されています。今年度もほりで一ぷらんやミスドルチェ等、議論だけに留まらず積極的な取り組みがなされています。11年目を迎えた協議会ですが、今後よりよい取り組みを考えていくためにも皆さまのご意見を賜りたいと考えています。ぜひ今年度も調布市の障害福祉のために中核的な役割を担って頂きたいと思っております。

続きまして平成28年度における調布市の展望、ここでは障害福祉課における基本的な目標・方針についてお伝えします。まず1点目は、障害者総合支援法に基づいた福祉サービスの推進です。引き続き障害者ご本人やご家族の立場に立った個別のケアマネジメントに基づいて、相談支援の充実努めてまいりたいと思います。2点目は、福祉人材育成拠点の整備です。市の重点プロジェクトとして位置づけされており、昨年度こころの健康支援センターに福祉人材育成センターが開設されました。今後も社会福祉協議会と共に取り組みを進め、将来にわたってニーズに的確に対応できる人材の安定的な確保を目指していきたいと思っております。3点目は障害者の就労支援の充実です。ちょうふだぞう及びこころの健康支援センターでは、引き続き障害者の就労

支援と生活支援を一体的に行っていきます。なお、ちょうふだぞう・すまいる分室については、国領への移転に向けて準備を進めております。4点目は障害者差別解消法の推進です。4月に法律が施行され、市全体としても対応規則を制定いたしました。また、新規採用の職員向けに障害福祉課の職員が研修を行いました。今後は障害者差別解消支援地域協議会の設置に向けて、準備を進めていく予定です。また東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて盛り上がるこの時期を、障害理解を進めるチャンスと捉えて取り組んでいきたいと思っております。最後に、次期の調布市障害者総合計画策定に向けて今年度から新たに動き始めたところです。皆さまのご理解・ご協力を得て進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(7) 今後の自立支援協議会について（障害福祉課）＊資料参照

今後の自立支援協議会のあり方について、新たな提案を行いました。

①幹事会から運営会議への転換

各ワーキングからだけでなく全体会からも委員に参加してもらい、新たに運営会議を設置します。事務局と共に地域課題を集約・整理し、優先課題からワーキングテーマを提案していきます。

②サービスのあり方検討委員会の強化

相談支援専門員で組織されているため、日ごろ関わっている個別の相談支援の中から地域課題を抽出していく機能を持たせます。

③全体会の機能強化

各ワーキングや事務局の報告を受け承認するという従来の機能は残しつつ、全体会委員にも地域課題を出してもらい、それを運営会議にて検討していきます。

今後は、障害種別に分化しているワーキングのあり方を検討する他、障害者差別解消支援地域協議会の設置に向けた準備も行っていきます。

(8) 質疑応答

○会長

それでは、質問やご意見があれば伺いたいと思っております。

○B委員

とてもありがたい提案だと思います。サービスのあり方検討委員会では、全ての障害について網羅されていると考えてよろしいのでしょうか。

○障害福祉課

市内の特定相談支援事業所の他、障害福祉課も含まれていますので全障害が対象になります。

○会長

平成28年度から、この組織図に基づき取り組んでいきたいという提案ですね。皆さまご承認頂けますか。よろしいでしょうか。（各委員より承認あり）それでは承認されましたので、次年度に向けてこの体制で進めていきたいと思っております。

○障害福祉課

それでは続きまして、2点ご提案をさせていただきます。まずは、全体会の参加団体から地域課題を出して頂きたいと思っております。後日、報告書と共に記入するシートをお送りしますので、8月末頃までに事務局に返送をお願いしたいと思います。第2回の全体会にて、提案頂いた内容を協議

できればと考えております。2点目は、運営会議に参加して頂く委員の件です。全体会に参加する団体から立候補または推薦を頂き、2～3名の委員を募りたいと思います。6月15日までにもし立候補や推薦がなければ、事務局からお声をかけさせていただきます。

○会長

皆さま、よろしいでしょうか。ぜひご協力をお願いしたいと思います。

○C委員

各団体から個別の障害者の課題が出されると思いますが、まずは調布市がどういう地域なのかをきちんと理解しておく必要があると思います。調布市では障害者や高齢者等の長期計画が出ていますね。以前に、調布市は他の地域に比べて子供の数が多いので、子供の問題を重視していく必要があるという話を聞いたことがあります。それぞれの個別の課題と共に、市全体の状況が分かるようにしておくといいと思いました。

○会長

地域課題というと、かなりテーマが大きすぎますよね。個別の課題なのか、調布市全体の地域課題なのか、そのあたりはどのような形式にするのでしょうか。

○事務局

まずは今後ワーキングで取り上げていくテーマについてご意見を頂きたいと考えていますが、書式についてもご意見を頂きながら決めていきたいと思っています。

○C委員

今日の資料にある障害者地域自立支援協議会の目的に「地域の社会資源の開発」という項目があります。実は私は昨年、地元の自治会で学校開放の委員になり地域の運動会に参加したのですが、そこで地域の障害者スポーツ推進委員と出会いました。その委員がワーキングに参加していたことから協力もあり、ちょうふだぞうワーキングの“ほりで一ぷらん”の開催にこぎつけたわけですが、そうした地域の社会資源の掘り起こしがもっと必要だと感じます。社会教育や防災の問題もありますから「こんな社会資源はないのか」そんな事も記入できるような書式にしてもらえたらと思います。

○会長

自立支援協議会は一人ひとりの生活に合わせて課題を出していくところですから、その点は忘れないようにしてほしいですね。今後策定していく障害福祉計画にも繋がっているものです。具体的にこんなことに困っている、こんなものがあつたらより良い、こんな取り組みをしているがどうか等の案も出して下さるといいですね。C委員の言われたような「地域資源」についても記入できる様式だといいと思います。教育の立場、就労の立場等それぞれの持ち場でお感じになっている事があると思いますので、ぜひ幅広くご意見を出していただけるといいですね。

○A委員

地区協では地域のネットワークを作る事を目指しており、防災については調布市から要援護者台帳の話も出ますが、実際に何かあつた時に地域の施設では障害者の受け入れ態勢がどうなのか、よくわからない点もあります。そうした具体的な所を教えてもらい、地域にどう協力を依頼するのか等がわかるとよいと感じています。

○会長

そうした事もぜひご意見として出して頂きたいですね。例えば防災や住まいについて等の枠を

作る事も方法の一つですが、自由に記述できる方式が良いでしょうか。

○B委員

枠を作る必要はないと思いますが、暮らしや余暇、防災等のポイントがあるといいかもしれません。また、この意見を障害福祉計画などにも生かせるといいと思います。ワーキングのテーマにすぐ結びつかなくてもいいとも思っています。

○障害福祉課

実は今年度、福祉健康部で市民福祉ニーズ調査を予定しております。その兼ね合いもありますが、調査の質問項目とはまた少し違う視点でのご意見をもらえるとよいのではと個人的には思っています。障害者総合計画だけでなく、調布市地域計画などに反映できる可能性もあるかもしれません。シートの書式については、事務局で検討したいと思います。

○会長

それでは、最終的には事務局に一任することに致しましょう。皆さん、具体的な話をぜひお聞かせください。運営会議への参加についても、よろしくお願ひ致します。最後に、今年度より次期の障害福祉計画策定委員会が発足します。自立支援協議会から意見具申を行っていく事になると思いますので、第2回で少しまとめていけたらと思います。

○副会長

今後に向けての意見具申も確かに重要ですが、これまでの障害福祉計画についての遂行状況の把握もぜひやってほしいと思います。その上で残った課題を、委員もきちんと理解しておく必要があると思います。そうしないと議論が上滑りしてしまう可能性もありますので、何らかの形で報告をしてほしいと思います。

○事務局

昨年度の第3回自立支援協議会全体会において、その時点での進捗状況は一応ご報告させて頂いております。

○会長

ただ全体のまとめはまだ出来ていなかったのですよね。それでは、今回の議事録や地域課題について記入してもらおうシートと共に、障害福祉計画の遂行状況も併せて報告頂けますでしょうか。

○D委員

すみません。毎回の資料についてですが、印刷された資料では分からないのでデータでパソコンに送っていただけないでしょうか。視覚障害者にとっては、当日配布では資料がなかなか読み込めません。この場でガイドの方に読んでもらっても、内容がすぐに頭に入ってくるわけではありませんので非常に大変なのです。ですから、要点だけでも事前に教えて頂けないでしょうか。黙っていたのですが度重なると、会議に参加する事自体が重荷になってしまいます。障害者差別解消法もありますので、すみませんが配慮をお願いします。

○事務局

対応が行き届かず、大変申し訳ありませんでした。今日配布させて頂いた分も含めて、今後は事前にきちんとデータ等で準備させて頂きます。

○副会長

資料を送るだけでなく、音声コードや問合せ先も入れておかないと不親切になりますよね。

○D委員

実は、音声ガイドのSPコードは機器の電源を切るとデータが消えてしまうので、不便なのです。簡単な資料なら読み込めますが、何ページにも及ぶと大変なのです。また視覚障害者と言っても、弱視や点字ができるかパソコンが使えるか等一人ひとり違います。視覚障害というよりも情報障害という事ですよ。音声コードの利用については、悩ましい所ではあります。目で見える情報と音で聞く情報では、全く違うのです。何度も読み込んで理解する必要があります。参加する事が重荷になりますし、資料を読み込んでいないので意見が言えない事もあります。事前に、こんな内容ですよという程度でも教えて頂けると助かります。よろしくお祈いします。

○会長

配慮が行き届かず、申し訳なかつたですね。事務局には今後対応をお願いしたいと思いますが、今後もぜひこうした意見を遠慮なく仰ってほしいと思います。

#### (9) 閉会の挨拶 (会長)

それでは時間も過ぎましたので、これで第1回の全体会を終わりたいと思います。盛りだくさんの内容でしたが、来年度に向けて新たな取り組みをしていく事になりました。この自立支援協議会をより良いものにしていけるように、皆さまのご協力をぜひお願いしたいと思います。ありがとうございました。

#### <事務局より>

第2回全体会は10月17日(月)15~17時の予定です。場所は、文化会館たづくり西館3階の健康増進室に変更になります。どうぞよろしくお祈い致します。